(3) 話題提供：国内外の事例

国内の事例

ポスター発表から

名古屋大学附属図書館 情報管理課長
冨岡 達治

サマリー

14機関からエントリー

- 筑波大学附属図書館
- 千葉大学附属図書館
- お茶の水女子大学附属図書館
- 電気通信大学附属図書館
- 金沢大学附属図書館
- 福井大学附属図書館
- 名古屋大学附属図書館
- 京都大学図書館機構
- 大阪大学附属図書館
- 鳥取大学附属図書館
- 広島大学図書館
- 岡山大学図書館
- 九州大学附属図書館
- 長崎大学附属図書館

取り組みの観点

1. 学生の主体的な学びと成長の支援
2. 学習環境と施設の革新
3. 情報資源の活用と提供
4. 学生と連携した図書館運営と広報

1. 学生の主体的な学びと成長の支援

- **個別相談・ピアサポートの充実**

  図書館職員や大学院生が学習相談やサポートを提供

  筑波　千葉　お茶の水女子　福井　名古屋　大阪　九州

- **スキルアップ・リテラシー教育の推進**

  情報活用能力や学術的文章作成能力を向上できるよう、実践的な講習会や研修を実施

  福井　名古屋　大阪　岡山　広島　九州

- **学生の交流・発信機会の創出**

  学生が互いに学び合い、自身の興味や研究成果を発信する機会を提供

  お茶の水女子　福井　京都　大阪　岡山　鳥取　九州

2. 学習環境と施設の革新

- **デジタル技術を活用した環境整備**

  AI、デジタルツールなどの最新技術を導入し、利便性向上や利用状況の可視化

  電気通信　京都　大阪　岡山　長崎

- **多様な学習空間と設備の提供**

  学生が目的に応じて最適な学習ができるよう、様々な機能を持つ空間や設備を整備

  筑波　電気通信　金沢　福井　広島　九州　長崎

- **ハイブリッド・遠隔学習支援の強化**

  ハイブリッドな学習環境を整備し、地理的・時間的制約を超えた学びを支援

  千葉　電気通信　大阪　長崎

3. 情報資源の活用と提供

- **資料選定と提供方法の改善**

  学生のニーズに合わせた資料を効果的に提供するため、選定プロセスなどを改善

  鳥取　岡山　長崎

- **電子リソースの利用促進**

  電子リソースのアクセスを容易にし、その利用を促すための活動を展開

  福井　岡山　長崎

- **特色あるコレクションと展示の充実**

  学生の興味関心を広げ、学びに繋がるよう、テーマ性のある展示を展開

  金沢　福井　岡山　九州　長崎

4. 学生と連携した図書館運営と広報

- **学生協働による図書館活動の推進**

  学生が主体的に企画や運営に携わることで、図書館の活性化と学生自身の成長を促進

  筑波　お茶の水女子　大阪　鳥取　九州

- **学生意見の収集とサービス改善への反映**

  学生からのフィードバックを積極的に収集し、図書館サービスを具体的に改善

  千葉　お茶の水女子　名古屋　鳥取　長崎

- **効果的な情報発信と広報戦略**

  多様なメディアを活用した広報活動で、図書館のサービスやイベントを効果的に発信

  筑波　京都　岡山　鳥取　長崎

ポスター紹介（抄）

詳細は、ポスター展示会場（会議室3）でご確認ください

ポスターは、国立大学図書館協会ウェブサイトでも公開します

筑波大学附属図書館

「つくば型チュートリアル学修」による学修者本位の教育モデル

- 学生の個性と主体性を重視した「対話的学び」
- 授業との深い連携
- 図書館施設の活用
- 人的サービス

千葉大学附属図書館

ハイブリッド型学習支援・環境整備

- 「アカデミック・リンク」のコンセプト
  - 考える学生の創造
  - 知のプロフェッショナルの育成
- 検討方法と改善事例
  - 職員ワークショップ（WS）の活用
  - 学生行動のタグ付けと分析
  - データに基づいた方針決定

お茶の水女子大学附属図書館

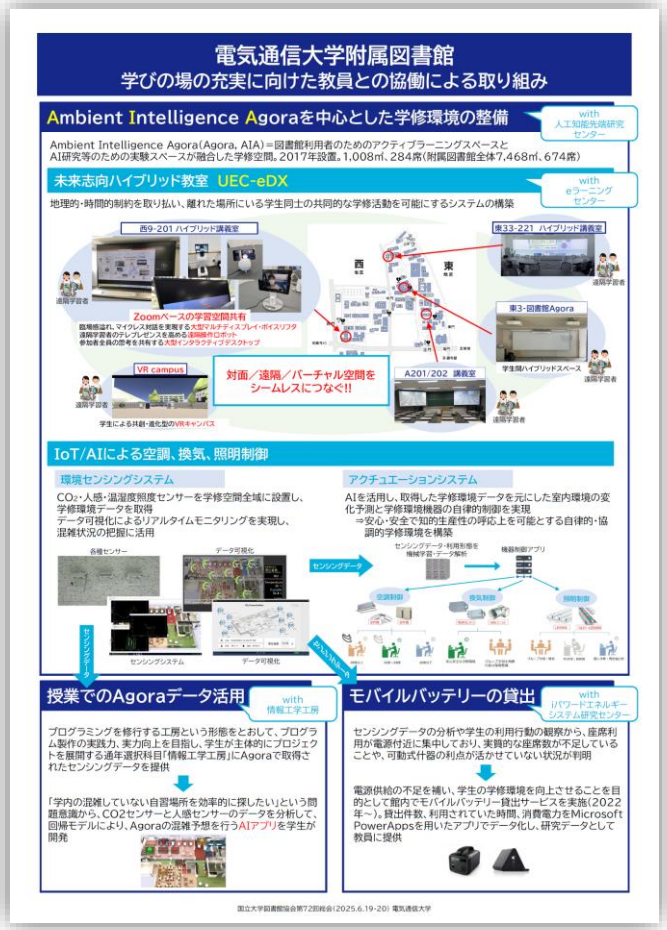
学生の可能性を広げる協働

- LiSA (Library Student Assistant)
  - 学内インターンシップとして図書館スタッフとの協働
- LALA (Library Academic Learning Adviser)
  - 学習・研究のピアサポートを提供
- MuSA (Museum Student Assistant)
  - 歴史資料館スタッフとの協働によりスキルアップ
- PCサポーター

電気通信大学附属図書館

IoT/AI技術を駆使した学習空間の構築と
教員との協働による主体的な学びの支援

- Ambient Intelligence Agoraの設置と活用
- 未来志向のハイブリッド学習環境の整備
- 授業におけるAgoraデータの活用と学生による共創
- 学生のニーズへの対応とサービス改善



金沢大学附属図書館

学生の知的な好奇心と多角的な学びを
育むための学習空間を創出

3つの「森」により文理医薬融合の知性を育成

- 思考の森（中央図書館）
- 発見の森（自然科学系図書館）
- 生命の森（医学図書館）

福井大学附属図書館

発想のヒントのための引き出し作り

「資料」、「場」、「人」の提供により知的好奇心を刺激

- 多様な興味・関心の醸成
  - 電子ブック利用促進、テーマ展示、他館貸出パッケージ
- 読書・知的交流の促進
  - 研究ミニトーク、ラーニングアドバイザー、勉強会支援
- 学生活動・研究の発信支援
  - みんなの本棚、課外活動成果発表

名古屋大学附属図書館

体系的な情報リテラシー教育提供と
大学院生との協働による学習支援

- 名古屋大学附属図書館情報リテラシー基準
  - 教員との連携とカリキュラムへの組み込み
- 大学院生サポートスタッフとの協働による学習支援
  - ラーニング・サポートデスク、刊行物発行
- 職員の研鑽とスキルアップ
  - 多角的なテーマ（教員との連携、学習サポート技術等）でのワークショップ

京都大学図書館機構

デジタル技術を活用した利便性向上・イベント実施

- シン・マップ
  - ルート案内機能も備えたデジタルマップ
  - 図書館以外の学習の「場」も集約（予定）
- デジタルスタンプラリー
  - 新入生向け図書館紹介イベントをデジタル形式で復活
  - 参加者集計の効率化
  - 参加者同士の交流、職員同士の交流にも寄与

大阪大学附属図書館

「新しい図書館のスタイル」構築

- DX推進
  - 顔認証システムの導入・デジタル学生証への対応
  - スピーキングブースの導入
- ラーニング・サポーターとの協働
  - 対面、リアルタイムオンライン、相談フォームの対応
- 「公共×大学」図書館のユニークな活用
  - 箕面市立船場図書館（大阪大学が指定管理者）の一体的運営

大阪大学 THE UNIVERSITY OF OSAKA

附属図書館における学生支援
新しい“場としての図書館”を目指して

コロナ禍後の学生に活用される新しい図書館のスタイル

顔認証システムの導入・デジタル学生証への対応

※オープンアクセス加速化事業の一環として導入

大阪大学のDX推進（OUDX推進室）
2024年4月　顔認証入場管理システムを構築・学内への展開
2025年1月　大学公式アプリ上でデジタル学生証・教職員証の提供を開始

附属図書館においては、
大阪大学、紀伊國屋書店、パナソニック コネクトが連携し、
顔認証対応入館ゲートと自動貸出返却装置を導入

2025年5月　顔認証を利用した入館を開始
デジタル学生証・教職員証のQRコードを利用した入館ならびに貸出を開始
2025年秋　顔認証による貸出を運用開始予定

導入のメリット
学　生：利便性向上
図書館：カウンター業務の負担軽減
→人的リソースの効果的な再配分が可能に

スピーキングブースの導入

ニーズ
学　生：オンライン授業受講やwebミーティング参加
図書館：カウンターにとらわれない、館を超えたオンラインレファレンスの実現

ユースケース
・オンライン授業の受講
・教員のオンライン授業実施
・外国語の発音練習

附属図書館ラーニング・サポーターとの協働による学習支援サービスの提供

2009年度より学生の学習支援を行う大学院生TA「ラーニング・サポーター（LS）」を館内に配置（今年で17年目）

活動内容：学習相談への対応、セミナー等の自主企画、図書展示の企画、図書館ツアーのガイド等
2025年度は総勢22名のLSが授業期平日に各キャンパスで勤務

・学習相談は、ラーニング・サポートデスクでの**対面、リアルタイムオンライン、相談フォーム**の3種類で柔軟に対応
・これまでにLSが作成したパスファインダーは244点
・**LSのための研修**を全学教育推進機構の専任教員が開催
たとえば……
学習支援3つの鉄則 / 書くことを教えるラーニング・サポーターのためのライティング支援研修
・LS（現・本学特任助教）が**LS活動改善のための報告書を公表**
中村敏樹（2024）「大阪大学外国学図書館におけるLS活動改善のためのアカデミック・ライティング・スキル学習とその効果の実態調査の結果報告」『大阪大学高等教育研究』12, pp. 43-57.

ラーニング・サポートデスクは、学生の学習活動をサポートするのみならず、研究者・教員の卵であるLSの学びの場にもなっている。

本学学生ならではの「公共×大学」図書館活用例

本学が指定管理者として運営する箕面市立船場図書館は、大学図書館機能を兼ね備えたユニークな図書館

一体的運営→**本学構成員による社会貢献の場**として機能

外国語学部の学生の実践例
・海外の文化を紹介する市民向けイベントを開催
・学習・研究成果を市民に発表
・外国語での読み聞かせイベントを開催
言語初学者の学生にとっては発話実践の場
外国ルーツの子どもたちにとっては母語に触れる機会

これらの活動を通して、学生が教室から一歩出て実践的な学びと社会貢献の喜びを経験できるよう支援している。

鳥取大学附属図書館

学生とつくる学生のための大学図書館

- 学生図書館ワーキンググループの活動
  - 学生による主体的な活動
    （図書の選書、イベントの企画・運営等）
- 学生視点でのサービス提供と環境整備
  - 図書館ツアー、ブックハンティング
  - 大学図書館学生協働交流シンポジウム
- 学生の要望への対応
  - 県内図書館との連携、モバイルバッテリーの貸出

鳥取大学附属図書館

学生とつくる学生のための大学図書館

鳥取大学附属図書館では、学生協働団体「学生図書館ワーキンググループ（学生図書館WG）」の学生が主体的に活動し、学生が親しみを持って利用できる図書館づくりを行っています。近年は、学生同士のつながりを通じた他団体との協力体制も生まれ、従来の活動内容からの発展も見られます。

また、学生からの要望をもとに、鳥取県立図書館の見学会を実施したほか、モバイルバッテリーの貸出を開始するなど、学生と職員が協議・調整を重ねることで、具体的なサービスの改善にもつなげています。

学生図書館ワーキンググループ

学生メンバー31名（令和6年度は33名）で活動しています。月1回程度の頻度でハイブリッド形式の定例会を開き、図書館で購入する図書の選書や、イベントの企画・運営をしています。各種資料はGoogle Drive上で共有して作成するほか、過去資料を参照できるよう保存を行い、次年度以降の活動につなげています。

企画・運営

昨年度は「大学図書館学生協働交流シンポジウム」をハイブリッド形式で開催しました。企画作成や当日の司会・進行役も学生が主体となって行い、全国各地の学生と情報交換をしました。また、例年ビブリオバトルの予選会や、オープンキャンパス・大学祭でクイズラリーを実施しています。クイズラリーは、昨年度より作成したクイズの監修を学内の他団体「クイズ研究会」に依頼するなど、学生同士のつながりも広がっています。

図書館ツアー

毎年4～5月に図書館ツアーを実施しています。新入生だけでなく在学生の参加もあります。内容も学生図書館WGの学生が作成するため、学生視点から図書館の活用方法を紹介する機会になっています。また、令和3年度から学内の他団体「G-frenz」の依頼を受け、日本語と英語の両方で留学生向けの図書館ツアーを共同開催しており、留学生が図書館に来館するきっかけにもなっています。

選書・展示

定期選書の他、書店に出向き本を選ぶブックハンティングを行い、学生視点での図書選定を行っています。展示は、定例会で決めたテーマに沿い、月1回程度行っています。どの本が入っているか借りてみないとわからない福袋展示など、ユニークな展示も利用者から人気が高いです。

県内図書館との連携

昨年度、学生図書館WGの学生の希望を受け、鳥取県立図書館職員の案内による見学会を実施しました。本学学生は県内図書館の所蔵資料を県内図書館ネットワークを通じて無料で取寄せ・貸出をすることができますが、この会では実際に連携している図書館に足を運び、館内の様子や展示・書庫を見学する機会となりました。

モバイルバッテリーの貸出

学内の他団体「鳥取大学学生活動支援会」より図書館内の閲覧席へのコンセント増設の要望と寄付の申し出がありました。学生と職員で協議し、コンセントの増設に代えて、モバイルバッテリーを寄贈していただき、貸出を開始しました。

広島大学図書館

国際戦略に対応した環境整備と支援

- キャンパスの国際化とグローバル人材育成の推進
  - 日本人学生と留学生の交流「図書館でEnglish / Japanese」
  - グローバルラーニングセンター
    （2025年10月 西図書館に開設予定）
- ライティングセンターの機能拡充
  - 書き手の学術的文章作成力を育む「広島大学型」
  - チューター養成課程による国際的チューター育成

岡山大学図書館

継続的な知的好奇心の醸成による相乗効果の創出

- 電子書籍の利用促進とデータ活用
  - 月ごとのテーマ設定による電子書籍広報
  - 統計分析を活用した選定・広報サイクルで学生のニーズにスピーディーに対応
- 「知好楽セミナー」を通じた多角的な学習支援
  - 多様な講師・参加者との交流を通じて「知」を「好」み、さらに「楽」しむ

九州大学附属図書館

アクティブラーナーを応援

- 学生協働による包括的な学習支援
  - 認定された図書館TA（Cuter）による学習相談、イベント
  - 学生の視点を活かした学生ガイド（Cute.Guides）
  - 図書館職員も、Cuterの活動を通じて成長
- 中村哲先生の志を継承する取り組み
- 芸術工学図書館の取り組み
  - アクティブラーニングを促進する「場」の整備と再構築

長崎大学附属図書館

行動目標設定で利用者数減少に対応

- 利用者ファーストの取り組み
  - ニーズ調査、サービス向上、環境整備の観点で目標設定
  - ブックハンティングの開催頻度増
  - e-room：設備更新による新たなアクティブラーニング環境
- 効果的な情報発信の強化
  - SNSによりリアルタイムな情報発信（フォロワー数増）
  - ニーズを反映した館内展示
  - 他部署とも連携したイベント開催

ポスター展示会場（会議室3）で
お待ちしています